

ボルグワーナー、中国でのデュアルクラッチ事業において 2件の新規契約を獲得

- ・ *ボルグワーナーのデュアルクラッチ技術は優れた性能と高い動力伝達効率を実現*
- ・ *ドイツ系 OEM との契約を中国市場で 7 年間延長*
- ・ *中国の大手トランスミッションメーカーとの新たな契約を締結*

革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供するグローバル製品リーダーのボルグワーナー（NYSE：BWA/本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：ジョセフ・ファドール/Joseph Fadool）は、中国の大手トランスミッションメーカーとの新たな契約を締結し、さらに中国におけるドイツ系自動車メーカー（OEM）との既存契約を7年間延長することで、デュアルクラッチトランスミッション（DCT）向けのデュアルクラッチモジュール製品におけるトップ企業としての地位を一層強化しました。

ボルグワーナーは、中国におけるドイツの自動車メーカー（OEM）との DCT クラッチアセンブリに関して、7年間の契約延長を締結しました。これにより、同社と中国における10年にわたる緊密なパートナーシップがさらに延長され、通常の内燃機関車およびマイルドハイブリッド車に対応した DCT 技術に関するボルグワーナーの専門知識が高く評価されていることが反映されています。天津工場で生産されるクラッチアセンブリは、従来の縦置き湿式 DCT と比較して、回転慣性の低減、摩擦損失やオイル漏れの最小化など、性能面で大幅な向上を実現しています。これにより、ドラッグトルクの大幅な低減、動力伝達効率の向上、そしてよりスムーズで応答性に優れた走行性能が実現されています。

さらに、ボルグワーナーは中国の大手トランスミッションメーカーとの新たな DCT クラッチモジュールに関する契約を締結しました。この製品は、中国国内および輸出市場向けの中国系大手

OEM の SUV およびセダンに搭載される予定です。太倉工場で生産されるこのクラッチモジュールは、コンパクトな設計、優れた耐熱性能、そして高いコスト効率を兼ね備えています。耐熱性に優れているため、さまざまな走行条件下でもスムーズなシフトチェンジが可能で、優れた坂道発進性能や最適なレーシングスタート性能など、多くの特長を備えています。量産開始は 2025 年末を予定しています。

湿式 DCT 技術のリーディングサプライヤーとして、ボルグワーナーは今後もイノベーションの限界に挑戦し、製品の改良を継続してまいります。お客様に付加価値をお届けするため、競争力のあるソリューションの提供に引き続き努めてまいります。

ボルグワーナーの副社長でドライブトレイン・モールシステムズ事業部長兼ゼネラルマネージャーのイザベル・マッケンジーは「中国市場で新たなプロジェクトを獲得できたのは、当社が同地域において革新的なソリューションを提供することにコミットしている成果です。今後も中国市場での成長を追求し、さらにはグローバル市場での成功をお客様と共に実現してまいります」と述べています。



ボルグワーナー、デュアルクラッチ事業において2件の新規契約を獲得

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースには、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)で想定された、将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべてである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」、およびこれらの語句の変化形や類似のものは、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、本リリースに含まれる、または参照する形で盛り込まれる、歴史的事実に関する記述を除く、当社の財務状況、事業戦略、および当該戦略を実施するための方策(事業の変更、競争力、目標、事業およびオペレーションの拡大・成長、計画、将来の成功への言及、その他の事項を含む)に関する、当社が将来発生すると期待または見込むすべての記述は、将来予測に関する記述です。最近提出されたフォーム 10-K(「Form 10-K」)年次報告書の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」に記載されているような会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、当社の経験、当社の歴史的動向に関する解釈、現在の状況、予想される将来の展開に関する認識、および現況において適切と考えられるその他の要因に照らして当社が行った仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定または示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本リリースの発行日現在における事柄を述べたものであるこれらの将来予測に関する記述を過度に信頼すべきではありません。将来予測に関する記述はリスクや不確実性を伴うものであり、その多くは予見困難であり、一般的に不可抗力によるものであるため、実際の結果は将来予測に関する記述で表明、予測、または示唆されているものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性の代表的な例として、次のものがあげられます。当社または当社の顧客に影響を及ぼす供給の混乱、商品の入手可能性および価格設定、ならびにこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと；受託製造会社(OEM)の顧客を含む既存および新規の競合他社による競争上の課題；急速に変化する技術、特に電気自動車に関連する技術的課題、およびそれに対応する当社の技術革新能力；電気自動車に対する需要および電気自動車の売上成長を予測することの難しさ；戦争やその他の地政学的紛争によって引き起こされる世界経済の潜在的な混乱；適切な条件で買収対象を特定し、買収を完了する能力；買収によって期待される利益を適時に実現できない可能性；2023年に旧燃料系システム部門とアフターマーケット部門を非課税分社化して別個の株式公開企業としたことによる意図した利益が得られない可能性；取得事業を迅速かつ効率的に一体化できない可能性；取得事業に関する未確認または推測不能な債務の可能性；自動車およびトラック生産への依存性(いずれも景気に大きく左右され、混乱の影響を受けやすい)；大手OEM顧客への依存性；一部のOEM顧客における将来的なストライキの影響および当該OEM顧客の対処法；金利および外国為替レートの変動；情報システムへの依存性；世界的な経済環境の不確実性；様々な申し立てに関する訴訟を含む既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府による調査の行方；当社が事業を行っている国における税金や関税を含む法律や規制の将来的な変更；将来起こりうる買収または譲渡による影響；当社が証券取引委員会に提出する報告書(直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因」)に記載されたその他リスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる事象、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新・改訂内容を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中込、浜辺

TEL: 090-7739-3601(中込)、080-2032-2924(浜辺)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp